

平成31年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査における

北九州市立 青葉 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語, 算数)

主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容	・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力
・実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能	・様々な課題解決のための構想を立て実践し、評価・改善する力

※全ての実施教科で、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問うようにしています。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査
○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

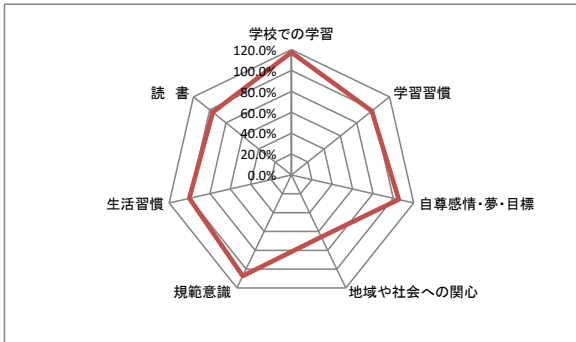
(1) 全国・本市の学力調査(国語, 算数)の結果

本年度の結果	国語		算数	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	9.1	65	9.0	64
全国	8.9	64	9.3	67

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	「言語についての知識・理解・技能」や「話す・聞く」能力に関する問題は、比較的正答率が高い。「読む」「書く」に関する問題で、正答率が低くなる傾向がある。短答式よりも記述式の問題を苦手とする児童が多い。無答率が全国平均と比べて非常に低い。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	同音異義になる漢字を、文意に沿って正しく書く。	
	努力が必要な問題	文章を書く際の効果的な工夫について考え、答える問題。(短答式)	
算数	全体的な傾向や特徴など	「合同な図形」、「棒グラフ」に関する問題の正答率が低い傾向である。無答率は全国平均値より低くなっている。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	説明に合うように図形の面積の求め方を考え、答える問題の正答率が高かった。	
	努力が必要な問題	棒グラフの2つの数値を比べて、何倍になるかを答える問題の正答率が低かった。	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
授業改善、家庭学習の啓発に取り組んできたことで、「学校での学習」「学習習慣」の数値は維持・上昇傾向にある。地域行事に進んで参加している児童は、例年に比べてやや少なかった。読み聞かせや読書週間の取組を継続させていることで、読書に親しむ児童の割合は少しずつ増えている。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- 学力向上に関する職員会議の定期的な実施(学期1回)
- 日々の授業改善に関わる研修の実施
 - ・主体的、対話的で深い学びになる授業づくりに関する研修(全職員・・・主題研究授業及び協議会)・若年研修(若年リーダー、若年教員)
- 国語の「読む力」を高める取組
 - ・文章の要旨、要点を読み取り、文章に書く問題の実施(高学年担任)
 - ・国語や道徳の時間など、文章を読み、課題に応じて自分の考えを書く授業の充実(学級担任・教務主任)

② 家庭生活習慣等に関する取組

- 宿題のスタンダード化
 - ・全学年で、自主学習を推進する(全校)
 - ・全学年に「家庭学習の約束(1年生～6年生)」を配布し、保護者の家庭学習に対する意識を高める
 - 1、2年生・・・30分以上 3年生・・・40分以上 4年生・・・50分以上 5、6年生・・・1時間以上という基準を提示
 - ・漢字・計算等の宿題を出し、基礎的・基本的な内容の定着を図る(各学年)
- 長期休業期間中の宿題の学校統一
 - ・夏休みは、B4両面30枚(表:国語、裏:算数)程度(全校)
 - ・冬、春休みは、B4両面10枚(表:国語、裏:算数)程度(全校)
 - ・採点は保護者が行い、子どもの学力状況を把握してもらう
- 全国学力・学習状況調査の課題と取組等を保護者へ周知
 - ・学校便り、学校HP、学年・学級通信等で、児童の学習状況等を発信する(校長・教頭・教務主任・各担任)